

質 問 通 告 書

平成 29 年 2 月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質 問 要 旨
1	橋 本 周 一 (6 0 分) 【 一 括 】	<p>1 一関市バイオマス産業都市構想について</p> <p>(1) 平成 28 年 10 月 5 日付けで市が国からバイオマス産業都市として認定を受けたが、今後どのような事業展開を計画しているか</p> <p>(2) 事業推進にあたり、民間事業者の取り組みが必要不可欠と考えるが、市として民間事業者とはどのようにかかわる考えか</p> <p>(3) 期待される効果をどの程度見込んでいるのか</p> <p>2 道路行政について</p> <p>(1) 藤沢バイパス整備に向けた取り組み状況</p> <p>(2) 国道 456 号の藤沢地域の改良等の取り組み状況</p> <p>(3) 藤沢地域における市道整備状況と今後の計画</p>
2	菊 地 善 孝 (4 0 分) 【一問一答】	<p>1 防災行政無線屋内子局廃止後の対策について</p> <p>糸魚川大火、岩泉町台風 10 号被害の教訓から</p> <p>(1) 現屋外マスト個別操作キーを該当地域区長並びに自治会に配置すべきではないか</p> <p>(2) 「安心メール」的なサービスに早速踏み切るべきではないか</p> <p>(3) 防災や行政に係る市民世論調査の方法を一考すべきではないか</p> <p>(4) 廃止代替として、屋外マストを基地とする再送信により、市内全戸、全事業所での屋内受信を可能にすべきではないか</p> <p>2 放射能汚染対処における自治体連携の実態について</p> <p>(1) 岩手県、宮城県北隣接自治体との連携を強めているが、汚染対策での取り組み状況の報告を求める</p> <p>(2) 今後の計画についての報告を求める</p> <p>3 滞納処分等の分野での市行政不服審査会との連携について</p> <p>(1) 「滞納一掃の取り組み」の結果、深刻な住民不信が生じている 昨年 4 月 1 日以降の同審査会との連携の報告を求める</p> <p>(2) この連携、同審査会の実態について、監査委員はどのように認識しているのか</p>

3	小野寺道雄 (60分) 【一問一答】	1 人口減少問題について (1) 平成27年に策定した人口ビジョンと総合戦略で、人口減少のスピードを緩められると考えているのか (2) 人口動態の傾向を集落単位、行政区単位できめ細かく分析し、対策を考える必要があると思うが、その取り組みは (3) 限界集落の実態をどのように把握しているか 2 相続登記促進のための窓口体制の充実について (1) 市道等公共工事の用地買収などにおいて所有権移転登記が遅れている実態とその要因は (2) 総合窓口体制を敷き、各課が連携した対応をとり、相続登記促進のための利便性の向上と不動産の相続未登記などの発生予防に努める考えはないか (3) 法務省が平成29年度から実施を検討している法定相続情報証明制度の導入後の対応について、どのように考えているか 3 公共下水道受益者負担金の統一について (1) 下水道受益者負担金制度の考え方、受益者負担金算出の考え方をどのように理解しているのか (2) 平成29年度から10年間の汚水処理計画は受益者負担金を統一しないまま進めるのか (3) 平成32年4月から下水道事業は、地方公営企業法の適用にされるが、受益者負担金が不統一のままで、地方交付税算定などに影響は生じないのか
4	千葉幸男 (40分) 【一問一答】	1 農業(園芸)振興について (1) 農家の所得向上策 (2) 新規就農者に対する支援策 (3) 高齢者による園芸作物の栽培支援策 2 国体後のスポーツ振興について (1) ジュニアのスポーツに関心を向ける方策 (2) 小・中・高各段階の指導者の育成・連携 (3) 合宿等の現状と今後の取り組み (4) スポーツコミッションの設置の検討 3 市道の維持管理について 草刈り、花木の管理などの取り組みと支援策
5	小岩寿一 (40分) 【一問一答】	1 食品ロスの削減について 一関市の食品ロス削減の取り組みについて 2 保健福祉について (1) がん教育の取り組みについて伺う (2) がん患者の就労支援について伺う (3) コール・リコール政策による受診率の効果について伺う 3 小型家電の回収について 小型家電からレアメタルの再資源化(金メダル作成)について伺う 4 投票環境改善案について 投票所を半減することによるねらいと人件費の効果について伺う
6	及川忠之 (40分) 【一問一答】	1 シイタケ産地再生に向けた「ナラ枯れ病」対策について 2 一関市鳥獣被害対策実施隊の任務について

7	石山 健 (40分) 【一問一答】	<p>1 一関市の農林業振興策、集落営農振興対策、農家の所得向上施策について</p> <p>(1) 農林業廃棄物処理の進捗率</p> <p>(2) 米生産調整をやめるのではなく、水田における麦、大豆、飼料作物増産を関係機関一体で取り組む対策</p> <p>(3) 米の消費拡大に本格的に取り組む対策</p> <p>(4) 酪農、畜産（肥育農家）の困難を打開する取り組み</p> <hr/> <p>2 総合的子育て支援の推進について</p> <p>(1) 待機児童の解消を実現する具体的対策</p> <p>(2) 延長保育、休日や夜間の一時保育の拡充</p> <p>(3) 学童保育の拡充</p> <p>(4) 非正規雇用と長時間労働をなくし子育てと仕事の両立ができるよう改善の働きかけ</p> <p>(5) 生活保護基準以下の母子家庭の生活保護の受給</p> <p>(6) 生活相談を初め相談者に寄りそっての親切的な対応が求められている 総合的に対応するワンストップ対策を講じてはどうか</p> <p>(7) 子供の通学路の歩道の整備と安全対策を地域の協力のもとに講じてはどうか</p>
---	-------------------------	---

8	<p>武田ユキ子 (60分) 【一問一答】</p>	<p>1 市役所改革（組織風土、職員の働き方、事務事業の棚卸し）について</p> <p>(1) 市組織風土 事務処理型から創造性を持った政策立案型の行政へと転換することが重要 前例の踏襲などの風土・慣習を捨て、行政だけの常識に捉われない抜本的な組織 風土改革・体質改善が必要と考える 市組織風土に対する市長の所見を伺う</p> <p>(2) 市職員の働き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 超過勤務の現状と要因分析 ・ 縮減の取り組み状況 ・ 課題、対策 <p>(3) 事務事業の棚卸し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の取り組み状況 ・ 事務事業の見直しの判断基準（あれもこれもになっていないか） ・ 事務事業総点検のシステム（行政の独りよがりになっていないか） ・ 職員の持てる能力が十分に発揮できる仕組みになっているか ・ 職員が競って改善できるような職員提案制度になっているか ・ 自発的な改革要素が人事評価に反映されているか <p>2 狐禅寺地区振興策について</p> <p>(1) 当局のこれまでの説明の中に幾つかの地域振興策案が示されているが地元の意見要望が反映されているのか伺う</p> <p>(2) 新施設建設と地域振興策・現施設跡地の利活用策等についての話し合いを同時並行して進めるべきではないか</p> <p>(3) 具体的な地域振興策の考え方を取りまとめる検討委員会を設置する考えは</p> <p>(4) 狐禅寺地区の複数の住民の方々から、建設候補地の選定についての要望書が提出され、そのことを受け適地かどうかの現地調査を実施してきた 現地調査の結果について伺う</p> <p>3 磐井川右岸、久保地内（旧下之橋跡）から新下之橋に通じる生活道の確保について 平成18年7月27日、地元の住民から市当局に対し、五十人町から旧来の下之橋への道路が今後行き止まりとならないように、車両等が堤防を通過して新下之橋を利用できるようにしていただきたい旨の要望書を提出、以来要望どおり、地域住民の生活道として重要な役割を果たしてきた ところが、昨年7月、地元は何の連絡もなくポールを設置、進入禁止の立札が立てられ通行不能となり、地域の安全が脅かされている 進入禁止となった事由と経過は</p>
9	<p>岩 渕 善 朗 (40分) 【一問一答】</p>	<p>1 投票環境改善案について</p> <p>(1) 投票環境改善案（投票所削減）の目的は</p> <p>(2) どのような基準で選定をするのか</p> <p>(3) 国政に参加する権利（選挙権）は国民主権の大原則と思うが見解は</p>

10	岩 淵 優 (4 0 分) 【一問一答】	<p>1 公共施設マネジメントについて</p> <p>(1) 一関市公共施設等総合管理計画の具体的な対応方法は</p> <p>(2) 「新地方公会計」は、一関市公共施設等総合管理計画にどのように生かされるのか</p> <p>2 奨学金の返済支援について</p> <p>(1) 奨学金の返済支援は、人材確保や若者の移住定住につながると期待できると思うが、その見解を伺う</p> <p>(2) 奨学金の返済支援のための基金を創設すべきではないか</p> <p>3 高齢者福祉について</p> <p>(1) 「介護予防・日常生活支援総合事業」の準備状況は</p> <p>(2) 「総合事業」のポイントとなる地域の支え合い体制づくりは、具体的にどのように推進していくのか</p>
11	那 須 茂 一 郎 (4 0 分) 【一問一答】	<p>1 ごみ問題について</p> <p>(1) 新焼却施設等の建設反対署名についてどう考えるか</p> <p>(2) 根本的なごみ処理の考え方について伺う</p>
12	勝 浦 伸 行 (4 0 分) 【一問一答】	<p>1 中東北の拠点都市の形成に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 観光振興計画が示されたが、今後の観光振興策の進め方について伺う</p> <p>(2) Uドーム、人工芝により整備されたサッカー・ラグビー場、ブルートラックで新設された陸上競技場、新一関図書館など、整備された施設の利用状況は非常に良い 今後、各種団体と連携し、集客力のある大きなスポーツ、文化行事等の開催、スポーツ、文化団体の合宿等を積極的に誘致すべきと考えるが、市長の考えを伺う</p> <p>(3) 資源・エネルギー循環型まちづくりは、中東北の拠点都市を目指す一関市の大きな財産になると考える エネルギーの地産地消を目指すため、エネルギー自給率や廃棄物の再資源化等の取り組みに対して、数値目標を示し、市民と共にまちづくりを進めるべきと考えるが、市長の考えを伺う</p> <p>2 財政状況について</p> <p>(1) 上下水道事業は、公営企業会計への移行、「上下水道センター」への再編、経営戦略の策定を進めているが、現状と課題について伺う</p> <p>(2) 公共施設等総合管理計画の策定が現在進められているが、この計画を見る限り、当市の財政状況はかなり厳しいものと認識する そのような中で、汚水処理施設整備計画が示されたが、その中期計画においては、大きな下水道計画の削減はない 財政的な裏づけについて伺う</p>
13	菅 野 恒 信 (4 0 分) 【一問一答】	<p>1 市民の所得向上と地域経済発展を目指す政策展開について</p> <p>(1) 「市民の幸福」実現の方策を伺う</p> <p>(2) 市民各層の所得・貧困状況を伺う</p> <p>(3) 市ができる市民所得向上策・公契約条例の実施をすべきではないか</p> <p>2 選挙投票所改善（「削減」）計画について</p> <p>(1) 投票率低下の原因と向上の取り組みを伺う</p> <p>(2) 18歳、19歳の有権者の理解が重要ではないか</p> <p>(3) 結論を急がず住民意識向上の取り組みをすべきではないか</p>

14	佐藤 浩 (6 0 分) 【一問一答】	1 本庁舎電光時計の再設置について (1) 電光時計を撤去することに至った経緯は (2) 再設置を望む多くの市民への説明は 2 本庁舎敷地の有効利用について 本庁敷地内の環境整備及び有効活用について、合併後、検討した経緯はあるのか 3 スポーツ支援策について (1) 一関市生涯スポーツ振興計画において、子供のスポーツ活動への具体的な推進施策は (2) 一関市総合教育会議において、スポーツ少年団への支援策は論じられているのか (3) スポーツ少年団の運営・活動に対する支援の具体は 4 人口減少対策について (1) 死亡原因と原因解消の施策は (2) 平均寿命や健康寿命を延ばす施策を充実させるべきでは
15	佐々木清志 (4 0 分) 【一問一答】	1 農業施策の独自振興策について (1) 米政策転換への対応は (2) 飼料米、WCSの現状と課題は (3) 水田の畑地化への進捗状況は (4) 新ブランド米（金色の風）への取り組みは (5) 6次産業化への取り組みは 2 「健康長寿のまちづくり」の具体について (1) 生活習慣病への取り組みは (2) アンケート調査結果を具体の取り組みでどう生かすか (3) 健康づくりにもPDCAサイクルを徹底すべきではないか (4) 食生活改善を全市的な取り組みにすべきではないか

<p>16</p> <p>藤野 秋 男 (4 0 分) 【一問一答】</p>		<p>1 崩落地域への対応について 東日本大震災によって崩落した宅地がある しかし、「個人の財産」として、具体的調査も行っていない 市民の安全や安心の確保は自治体の大切な仕事でないのか 特に、発生の原因が本人の引き起こした事案でなく、他にも影響が出ていること や隣接地域に公共施設もある そこで以下について伺う (1) 調査や対策等ができない法的根拠 (2) 国県への対応 (3) 今後の取り組み</p> <p>2 ごみ減量化対策について ごみ減量化対策の具体的数値や計画の取り組みがやっと示されようとしている この計画は、建設が予定されている可燃ごみ焼却施設との関係もあったことから、 以下について伺う (1) なぜここまで計画策定が遅延したのか (2) 報償金制度の拡充策 (3) 取り扱い業者との連携等</p> <p>3 雇用促進住宅への対応について 雇用促進住宅の一括売却は、東日本エリアは応札がなかったことから今後再入札を 行うとしている 機構の本部を訪問した勝部市長は「現時点で何も話すことはない」としているが、 入居者にとっては大変な不安である そこで以下について伺う (1) 入札方法や条件等でどう要望したのか (2) 政府への対応</p>
<p>17</p> <p>千田 恭 平 (6 0 分) 【一問一答】</p>		<p>1 人口減少の市政への影響について (1) 当市の年代別、地域別人口減少の特徴と原因 (2) 人口減少が市政と市民生活に及ぼす影響 (3) 対策</p> <p>2 空き家対策について (1) 一関市空家等対策計画における第5章空家等対策の推進体制 ・ 現在どのように進んでいるのか ・ 今後どのように進めていくか (2) 他市の取り組み つるおかランド・バンクの取り組みを参考にしては</p> <p>3 環境政策について (1) 一関市環境基本計画(案) ・ 重点プロジェクトの具体的な進め方 ・ 個別計画 (2) 一関市バイオマス産業都市構想 全体的計画と平成29年度の取り組み (3) カーボンクレジット・BDF等の現況</p> <p>4 市の情報発信について (1) 情報の発信 ・ スマホ(携帯)利用を念頭にシステム化すべきでは ・ 発信者の表記、片仮名語などチェック体制はなされているか (2) 意見公募のあり方 ・ どんな時にパブリックコメントを求めるのか これまでの実績と周知方法 ・ 意見提出はどのように行われているか</p>

18	金野盛志 (60分) 【一問一答】	1 狐禅寺の焼却施設の諸課題について (1) 覚書に対する「重く受け止める」の発言の真意、地元への対応 (2) 仮設焼却炉、最終処分場、新焼却施設整備の基本的考え方 (3) ごみ減量化(生ごみ、バイオマスと関連して) 2 内陸部災害公営住宅建設について (1) 一関、千厩地域の整備戸数、場所、完成時期 (2) 整備方式
19	岡田もとみ (40分) 【一問一答】	1 就学援助事業の改善について (1) 就学援助の入学準備金の単価は、実態に合わせ、引き上げるべきではないか (2) 入学準備金の支給時期は、入学後の6月から入学前に変更すべきではないか (3) 就学援助の対象は、生活保護基準の1.2未満から1.3へ引き上げるべきではないか 2 高齢者の自動車事故防止対策について 高齢者の自動車事故の不安としてブレーキの踏み間違いがあるが、急発進防止装置を車に取り付けることで急発進の防止ができるようになった 高齢者にとって、安心安全の交通手段の確保は切実な願いである こうした願いに応えるよう、具体的な支援策を検討すべきではないか 3 新ごみ焼却施設等の狐禅寺地区問題について (1) 狐禅寺地区への建設について、市長は「総合的に判断」としてきたが、その内容はどのようなものか伺う (2) 「狐禅寺地区生活環境対策協議会と議員の懇談会」では、対策協議会自体が賛成、反対の二つに分かれていた 当局が対策協議会役員会に提案してから4年になるが対策協議会としての統一見解を出せない状態では、狐禅寺地区の建設は不可能と判断すべきではないか

20	佐々木賢治 (60分) 【一問一答】	<p>1 スポーツ振興について</p> <p>(1) いわて国体・いわて大会を終え、どのように総括しているのか、また、今後のスポーツ振興にどのように生かしていくのか</p> <p>(2) 各種スポーツ大会・合宿の誘致活動への取り組みとその実績はどうなっているのか、また、課題はどう捉えているのか</p> <p>(3) 県のスポーツ地域振興戦略事業をどのように捉えているのか</p> <p>(4) 特に、シルバー健康保持のためにも一年間通じての活動拠点として冬期間利用可能な土床屋内運動場を整備すべきでは</p> <p>2 人口減少対策について</p> <p>(1) 移住定住促進について、その対策として重点的取り組みはどのようなものか U I J ターン別の取り組みはあるのか、例えば、地元の次男、三男に特化した定住対策をすべきではないか</p> <p>(2) 結婚活動の支援について、平成28年の取り組み状況と今後の取り組みはどのようになっているのか 県がいきいき岩手結婚サポートセンターを県南に開設する動きもあるがどう対応するのか</p> <p>3 国際交流都市のまちづくりについて</p> <p>(1) 「世界の国々から親しみを持たれるまち」「世界の国々から信頼されるまち」を目指すとはどのようなことを想定しているのか</p> <p>(2) 目指すまちを目指すうえで、その基礎を成し、そして、子供たちが将来を生き抜くためにも幼児期から英語教育を強化すべきではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の英語教育の目指すところは何か、その取り組み実態は ・ 英語の必要性をまちづくりの観点からどう認識しているのか <p>4 ふるさと納税について</p> <p>(1) この制度をどのように受け止め推進しているのか</p> <p>(2) これまでの実績はどうなっているのか</p> <p>(3) 返礼品はどのように選定され、また、年々変わっているのか</p>
21	沼倉憲二 (60分) 【一問一答】	<p>1 新年度の市政推進について 市長の任期が、10月である中で</p> <p>(1) 新年度の市政推進にどのように取り組むのか</p> <p>(2) 予算や施策面での基本的な考え方は</p> <p>(3) 任期後の所信は</p> <p>2 黄海地区の治水対策について</p> <p>(1) 北上川の築堤や水門設置及び黄海川の整備の進捗状況は、どのようになっているのか</p> <p>(2) 市としての整備促進のため、どのように取り組んだのか</p> <p>(3) 今後の早期整備のため、どのように取り組むのか</p>